

介護予防・日常生活圏域二一ス調査 県が指定する以下の項目について集計

調査項目	指標	集計方法
問 2 (1)~(5)	リスク者の割合（運動機能）	問 2 (1)~(5)の 5 項目中 3 項目以上該当する方／調査回答者数
問 2 (6)	リスク者の割合（閉じこもり）	問 2 (6)に「1.ほとんど外出しない」を選択した方／調査回答者数
問 3 (1),(7)	リスク者の割合（低栄養）	問 3 (1),(7)すべてに該当する方／調査回答者数 ※BMIは18.5未満の場合に該当とする
問 3 (2)~(4)	リスク者の割合（口腔機能）	問 3 (2)~(4)の 3 項目中 2 項目以上該当する方／調査回答者数
問 4 (1)~(3)	リスク者の割合（認知機能）	問 4 (1)~(3)の 3 項目中 1 項目以上該当する方／調査回答者数
問 4 (4)~(8)	リスク者の割合（IADL低下）	問 4 (4)~(8)へ「1.できるし、している」を選択した場合を 1 点として 3 点以下の方／調査回答者数
問 5 (1)	社会参加率（全体及び項目別）	総合事業ワークシート5-2の集計に準ずる
問 8 (1)	主観的健康観	問 8 (1)の「とてもよい、まあよい」の回答割合
問 8 (2)	主観的幸福感	問 8 (2)の点数が一定以上の割合
問 9 (2)	認知症相談窓口の認知度	知っていると回答した数／調査回答者数

※集計方法の詳細については、契約後協議の上決定する。

新在宅生活改善調査の調査項目

事業所票	調査項目
問1	所属するケアマネジャーの人数、及び利用者数
問2	過去1年間に居場所を変更した要介護度別の利用差数と自宅等で死亡した利用者数
問3	過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者数
問4	利用者の在宅生活の維持が難しくなる要因、よくあるケース（自由回答）

利用者票	調査項目
問1-0～1-5	対象となる利用者の所在地、世帯類型、現在の居所、要支援要介護度
問2-1	主な家族介護者の方の年代
問3-1	現在のサービス利用では、本人の生活の維持、介護族介護者の就労継続が難しくなっている理由
問3-4	本人の生活の維持、もしくは家族等介護者の就労継続のために、充実が必要な生活支援
問4	本来であればより適切と思われる具体的なサービス

居所変更実態調査の調査項目

事業所票	調査項目
問1	サービス種別
問2	施設等の名称、定員数、入所・入居者数
問4	医療処置必要な利用者の受け入れ可否について
問8	過去 1 年間に貴施設等を退去した人数
問9	過去 1 年間の退去者の要介護度
問10	過去 1 年間の退去者の退去先別人数
問12	入居・入所者が退去する理由、よくあるケース（自由回答）

介護人材実態調査の調査項目 ※赤字は県が独自に追加する項目

事業所票	調査項目
問1	サービス種別
問2-1	施設等の名称、定員数、入所・入居者数
問2-2	介護職員の欠員数
問3-1	外国人介護人材受け入れについて
問3-2	雇用している外国人介護人材の在留資格
問3-3	過去に離職した外国人介護人材の国籍
問3-4	過去に離職した外国人介護人材の離職理由（上位3つ）
問3-5	外国人の受入を考えていない理由
問4	採用や人材定着に関する課題（自由記述）
問5	人材確保に関して県や市町村に期待するサポート（自由記述）

職員票	調査項目（訪問介護員向け）
問1	サービス種別
問2-1	介護予防給付・総合事業による身体介護・生活援助を提供した時間